

ここにひまわりを...
広報誌 第99号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
 0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しい安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

8月8日(土) 19:30 ~ まわるひまわり盆踊り
 8月22日(土) 19:30 ~ 瑞雲荘供養盆踊り
今夏も開催します!!



問い合わせ先
 ・まわるひまわり盆踊り
 0978-66-5500 (ひまわり江口)
 ・瑞雲荘供養盆踊り
 0978-52-2233 (瑞雲荘 佐藤)

福祉サービス相談委員会
 7月14日に瑞雲荘にて平成27年度第一回福祉サービス相談委員会が開催されました。ひまわり各事業所に寄せられた利用者様やご家族からのご意見、苦情等について報告し、様々な意見交換が行え有意義な時間となりました。また、現在、瑞雲荘で行われている施設内巡回について、不定期では無く、今後は毎月第三土曜日の10時からひまわり各事業所で行う事となりました。この広報誌で巡回日時や場所について事前にお知らせできるようにいたします。ひまわり各事業所のサービスについて何かご意見や苦情・お問い合わせがございましたら、是非、福祉サービス相談委員に相談されてください。福祉サービス相談委員は、相談窓口等における相談の受付や相談内容の確認、調査や解決、処理方針の決定。事業者に対する改善指示、提言、勧告。相談者に対する結果報告等を行う当法人と利害関係の無い第三者で構成され、相談された事で不利益を受ける事もございません。安心して相談されてください。

8月の福祉サービス相談委員巡回は8月8日(土)の10時から特別養護老人ホーム瑞雲荘にて土谷相談員が行います。事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

熱中症にご用心

熱中症は体温調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまう事で起こります。暑い夏を元気に過ごせるよう日頃から予防に心掛けましょう。

予防のポイントとして外出中は日傘や帽子で暑さを避ける事。こまめな水分補給。そして日頃から運動等で汗をかく習慣を身につけ、暑さに対抗しやすい体を作ることが挙げられます。

また熱中症は屋内でも起こるので冷房を我慢し過ぎず適切に使用しましょう。

いざ熱中症になった際には重症化する前に応急処置をする事が重要です。また熱中症が疑われる人を見かけたときは風通しのいい日陰など涼しい場所へ移動し衣服を緩めたり、ぬれタオルを当てて身体を冷やします。冷たい水やスポーツドリンク、塩あめなどで、水分・塩分補給事も重要です。

もし自力で水が飲めない方やすでに意識がない場合はすぐ病院へ受診してください。

秦

教えて!どんな資格?

今月の「教えて!どんな資格」は管理栄養士を紹介します。管理栄養士とは厚生労働大臣の免許を受け、「管理栄養士」の名称を用いて、健康の保持増進のための栄養の指導や給食管理を行うことを業とする者です。瑞雲荘の野口管理栄養士による「食事」という「もの」を提供するだけでは無く、どうすれば高齢者一人ひとりの生き方を支え、その人らしく尊厳を持って生きていくための身体を保つことができるのかを考えています。食事はいわばそのための手段ですし、生活そのものの質を高める楽しみでもあります。また利用者様各々の嗜好や食事歴を知る事でもその方の歩んできた人生を垣間見る事もあり、改めて食事と人生とは切っても切れないものであると痛感します。利用者様毎に生活習慣や嗜好、身体の状態は変わりますが、出来る限り個人に寄り添い、互いの交流のある食事環境をつくりたいと考えています。日々の食事が「美味しい」「楽しみ」と感じて頂ける様に取り組んでいきたいと思えます」との事でした。

編集後記

私事ではありますが、先日脳ドックを受けた結果、脳動脈瘤が見つかりました。結果を知った日は「夢じゃないか?信じられない」といった状態でした。その後、受診や検査入院の日程が決まると、少しづつではありますが脳動脈瘤について受け入れる様になりました。エリザベス・キューブラー・ロスというドイツの精神科医が人間が死に直面した時にどのような心の動きを経て最終的に死を受け入れるのかを著書「死ぬ瞬間」で説明しております。簡単に紹介すると「否認・隔離」自分が死ぬという事は嘘ではないのかと疑う段階。「怒り」なぜ自分が死ななければならないのかという怒りを周囲に向けて段階。「取引」なんとかが死なずにすむように取引しようとする段階。何かにするという心理状態。「抑うつ」なにもできなくなる段階。「受容」最終的に自分が死に行くことを受け入れる段階と5つの段階を経て死を受け入れる事になります。しかし、これは死に對する受容だけでなく、あらゆる苦しみに對する受容に当てはまるのではないかと思います。例えば「病」です。今回私の心の動きを振り返ると「否認」「怒り」「取引」まで当てはまりました。禁煙・断酒・手術をするの「老い」についてもあてはまると思えます。「老い」の場合、取引が成立しませんが、その取引として「忘れる」という心の働きがあるように思えます。忘れることで辛い状況を凌ぐという事は人間が本来持つ防衛本能かも知れません。何故なら思い出す6:3:1という言葉をご存知でしょうか?どんな人も思い出すと記憶しているのは楽しい思い出6割、どちらでもない思い出3割、辛い思い出1割という法則です。認知症の方は昔の事はよく覚えていて、今の事はすぐに忘れてしまうのは、昔(若い頃)は楽しくて、今はそうでもないからかも知れません。この様に人間の記憶はよく出来ていて、辛い事があってもある程度凌げるようになっていくように、忘れる事で色んな事を受け入れる代わりには沢山の事を忘れなければなりません。年を重ねる事は手に入れるだけでなく、それらを喪失する事でもあります。手に入れたら失われるものは思い出ぐらいかも知れません。高齢になると喪失するスピードが加速し、スピードに比例する知症と呼んでいくのかも知れません。我々はそれを認

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一

瑞雲荘

家族会

7月18日に平成27年度第一回瑞雲荘家族会を開催いたしました。運営状況について、8月からの食費・部屋代の負担額の変更について説明を行いました。また現在瑞雲荘は平成28年度からの建替えの話を進めておりその進捗状況や、ユニット型個室での建替えに伴う、サービス内容の変更や自己負担金の増額についての意見交換を行いました。家族会の意見としては、「ユニットケアと言われてもピンとは来ないが、個室になるとプライバシーが保護出来る反面、寂しく感じる利用者も居るのではないかしら？」しかし家庭的な環境で生活できるのはよい事である。また、自己負担金については既入所者は居室料を据え置いて頂けるとうかがいたい。とといったものも多くありました。今後ともご家族との話し合いの機会を設けながら建替えについて話を進めていきたいと思っております。



花火大会

恒例となった花火大会を行っております。今年は打ち上げ花火を多く用意し、利用者の方々に楽しんで頂きたいと思っておりました。



ひまわりハウス

ざぼん&大西さん来訪

6月19日に元ひまわり職員の大西さんと芸名「ざぼん」こと得永さんが来られました。今回もド派手な化粧で登場し、利用者の皆様を笑わせてくださいました。「あはは、すごい化粧やな！おかしい」とみなさん我慢できずに大笑い。また、日本大道芸のひとつでもある南京玉すだれも披露してくださいました。「おあーすごいな」「うまいもんじゃないや」と先ほどの笑いとは違って驚きの声があがりました。さらに手品も披露して頂き、一見何の変哲もない袋から利用者

様の言った通りの物を出したりと終始、驚きと笑いでいっぱいでした。また、大西さんはカラオケを披露してくださいました。「あんな人は歌がうまいな」と皆様が言われていました。大西さん、ざぼんさんありがとうございました。

ねこの手ボランティア来訪

ねこの手ボランティアの皆様に来訪頂きました。「たなばたさま」を皆様で歌ったり、オカリナやハーモニカの演奏もしてくださり利用者の皆様も聞き入っておられました。また、七夕にちなんだゲームを行い、皆様、楽しんでいただけました。ただただの様子でした。ねこの手ボランティアの皆様有難うございました。



三楽園デイサービス

七夕

足が良くなりますように

家内安全

阪神優勝

いつまでも元気に三楽園に来れますように

宝くじが当たりますように

いろいろな想いがつまった七夕飾りが出来上がりました。竹が見えないくらい豪華さにある利用者様が一言。

「みんなの力やな！」

家からくす玉やこよりを作ってきてくださった方々、黙々と輪つなぎを作ってくださいました男性利用者の方、「何か手伝おうか？」と声を掛けてくださった女性利用者の方々。本当に皆さんの力の結晶です。三楽園のパワーがたまってきた七夕さま。これはきつと願いが届くに違いありません。楽しい時間を有難うございました。



父の日

父の日と言えば感謝の気持ちを父へ伝える日ですが、今年三楽園のお父様方から若い世代へ人生のアドバイスを頂きました。「少しは親のいう事を聞きなさい。」「嫌な事があつたら3つ数えてこらえなさい。」「すぐに世の中のことへ腹をたてるな。」「人に迷惑をかけるな。」「何事も善意で解釈しよう。」「己を抑えれば気が楽になれるし、すべてを許せる。」「とにかく働け！」との有難いお言葉に自分を反省させられることばかりでした。

この言葉を思い出し、時には立ち止まり自分を直すの必要な時もある。もしも。そんなとき。ドバイ。ス。ア。リ。が。あ。り。ま。し。う。ご。ざ。い。ま。し。た。



きつぎの里デイサービス

七夕

「健康で長生き出来ますように」「孫が結婚出来ますように」様々な願いを書いた短冊や色紙で作られた輪つなぎ、提灯、投網等が沢山飾られた七夕飾りを利用者様が見上げる姿が多く目につきます。

6月から利用者様にも協力してもらい短冊や飾りを少しずつ作り溜めてきました。背の高い笹を切ってきて来てダンボール箱にいっぱい飾り結び付けの際には男性利用者様が黙々と飾りを運んで付けて頂き、みるみるうちに七夕飾りは完成しました。七夕飾りは1週間展示し、その間それぞれに記念撮影をしました。

今年も七夕の夜

は天の川を見る事が出来ませんでした。7月7日の昼食は七夕メニューで天の川がイメージされた見た目にも楽しい食事が用意され七夕の気分を味わって頂きました。

